

国際運輸労連（ITF）
第 43 回世界大会
2014 年 8 月 12 日、ソフィア
港湾部会総会

報告書

港湾部会総会は 2014 年 8 月 12 日に開催された。

議題 1: 報告者の選出

レイ・ファミラッセ（ILWU、米国）が報告者に選ばれた。

議題 2: 大会テーマ文書

大会テーマ文書が設定した広範な組織化戦略の文脈の枠組みにおける、港湾部会の優先課題と向こう 4 年間の活動計画について、港湾部長がプレゼンを行った。議題 2 と 3 を一緒に扱い、このプレゼンを受けて会場から多くの意見が上がったが、提起された主な問題は以下の通りだった：

- 港湾の民営化
- グローバル・ネットワーク・ターミナル（GNT）への対応と組織化
- 連帯能力の強化
- 港湾の自動化

これら全ての問題に共通するテーマは、巨大なグローバル企業が運営・管理している港と、小規模の民営化港の両方で、企業が利益を上げる一方、労働者や組合の力を弱体化させようとしている点だ。議論から、以下の戦略を含む、これらの問題への対応策が浮き彫りになった：

- 組合間の調整
- 港湾産業の変化に対応するため、異なる交通産業が緊密に連携する。
- 船員との関係を強化し、便宜港湾との闘いにおいて、船員からより積極的な支援を求める。

- 中国の労働組合を含めた、国内、地域内における組合同士の関係の改善。
- GNT 横断的に労働者や組合の連帯を構築する。
- 組合を破壊することを目的とした自由化には反対し、自動化導入にあたっては、交渉権、新規雇用、訓練、自動化の恩恵の分配、時短や社会条項の導入などに関して最低基準を設置することを要求する。

港湾部会は、新たな課題に取り組む前に、主なキャンペーンに集中し、それを優先化し、勝利を収める必要がある点が認識された。

総会は大会テーマ文書を提案通り採択した。

議題 3: 4 カ年活動計画

議題 3 の議論は上述の議題 2 の議論とともに行われた。

議長が議論をまとめ、特に GNT キャンペーンを強化するため、効果的なリサーチやマッピング、コミュニケーション、ネットワーク構築を通じ、港湾部会が課題に直面する準備を進めることの必要性を強調した。活動計画実施のために資源を確保しなければならなかったが、そうして確保した資源は、地域での実施のため、地域にも割り振られるべきだ。

総会は港湾部会の 2014-2018 年の活動計画を提案通り、承認した。

議題 4: 動議

決議委員会によって本総会に付託された動議はなかったが、オーストラリア海事組合 (MUA) が提出したテーマ文書の別紙 2 (自動化について) を議論した。

議題 5: 選挙

以下の役員が選ばれた :

議長	Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア)
第 1 副議長	Ray Familathe (ILWU、米国)
第 2 副議長	Torben Seebold (ver.di、ドイツ)

女性代表	Monique Verbeek (BTB、ベルギー)
青年代表	Anthony Dailey (SITREBALCRI、パナマ)
一般委員	Arasu Duaraisamy (SPWU、シンガポール)
	Joe Fleetwood (MUNZ、ニュージーランド)
	糸谷欽一郎 (全国港湾、日本)
	P M Mohammed Haneef (CPSA、インド)
	Marc Loridan (BTB、ベルギー)
	Steve Biggs (UNITE、英国)
	Aleksejs Holodnuks (UTAF、ラトビア)
	Niek Stam (FNVB、オランダ)
	Jose M Pavez Vega Artime (UGT、スペイン)
	Said El-Hairech (UMT、モロッコ)
	Simon Sang (KDWU、ケニア)
	Daniel Owusu-Koranteng (MDU、ガーナ)
	Alvin Sinclair (BITU、ジャマイカ)
Roberto Coria (SGGM、アルゼンチン)	
Mark Gordienko (ILWU、カナダ)	
John Baker (ILA、米国)	
承認オブザーバー	Vasiliy Kozarenko (DUR、ロシア)

総会参加者は別紙 1 の港湾部会委員会の構成に合意した。

総会参加者は公正慣行委員会・運営グループ (FPC-SG) の委員として、以下のメンバーを推薦することで合意した：

アフリカ・アラブ	Said El-Hairech (モロッコ)
アジア太平洋	P M Mohammed Haneef (インド)
	玉田雅也 (日本)
	Joe Fleetwood (ニュージーランド)
欧州	Marc Loridan (BTB、ベルギー)
	Pantelis Stavrou (キプロス)
	Aleksejs Holodnuks (ラトビア)
	Niek Stam (オランダ)
中南米・カリブ	Michael Annisette (トリニダードトバゴ)
北米	Mark Gordienko (カナダ)

議題 6：その他

港湾部長がポーラ・ハミルトン部次長が、ITF 内部で 3 年間、他の部署に異動することになったと報告し、ハミルトンのこれまでの貢献と努力に対し、謝辞を述べた。

議長は港湾部会を代表し、港湾部会の第 1 副議長を退任するラース・リンドグレンのこれまでの貢献に謝辞を述べた。

その他の討議事項はなかった。

港湾部会委員会
2014年8月12日時点

港湾部会役員	
議長	Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア)
第1副議長	Ray Familathe (ILWU、米国)
第2副議長	Torben Seebold (ver.di、ドイツ)
女性代表	Monique Verbeek (BTB、ベルギー)
青年代表	Anthony Dailey (SITREBALCRI、パナマ)
アフリカ・アラブ	
議長	Judith Abuka (DWU、ケニア)
委員	Simon Sang (KDWU、ケニア)
委員	Daniel Owusu-Koranteng (MDU、ガーナ)
委員(アラブ地域)	Said El-Hairech (UMT、モロッコ)
アジア太平洋	
議長	Yong Soo Chi (KFPTWU、韓国)
委員	Arasu Duaraisamy (SPWU、シンガポール)
委員	Joe Fleetwood (MUNZ、ニュージーランド)
委員	糸谷欽一郎 (全国港湾、日本)
委員	P M Mohammed Haneef (CPSA、インド)
欧州	
議長	Terje Fenn-Samuelsen (NTF、ノルウェー)
委員	Marc Loridan (BTB、ベルギー)
委員	Steve Biggs (UNITE、英国)
委員	Aleksejs Holodnuks (UTAF、ラトビア)
委員	Niek Stam (FNVB、オランダ)
委員	Jose M Pavez Vega Artime (UGT、スペイン)
中南米・カリブ	
議長	Mayo Uruguaio Fernandes (CONTTMAF、ブラジル)
委員	Alvin Sinclair (BITU、ジャマイカ)
委員	Roberto Coria (SGGM、アルゼンチン)
北米	
議長	John Baker (ILA、米国)
委員	Mark Gordienko (ILWU、カナダ)